

2019年9月6日

横浜羽沢駅リニューアル開業の詳細について

11月30日（土）の横浜羽沢駅（横浜市神奈川区羽沢町）のリニューアル開業について詳細が決まりましたのでご案内いたします。

1. リニューアル開業後の主なサービス改善

（1）列車本数

ご要望の強い深夜の集貨が可能な北海道行き・九州行きの列車を各1本増やします。また、既存の列車についても、E&S方式（着発線荷役方式）となることにより発列車の貨物をお引き受けする締切時刻の繰り下げや到着列車の貨物をお引き渡しする時刻の繰り上げを実施し、利便性の向上を図ります。また、需要に応じて輸送力を柔軟に調整することが可能になります。

方面	横浜羽沢発			横浜羽沢着		
	現行	開業後		現行	開業後	
	列車本数	列車本数	既存列車の締切繰り下げ時間	列車本数	列車本数	既存列車の引渡繰り上げ時間
北海道	1本	2本	78～15分	1本	1本	53～11分
東北	1本	1本		—	—	
関東	3本	3本		4本	5本	
東海	1本	1本		1本	2本	
関西	1本	1本		1本	1本	
九州	1本	2本		1本	1本	
合計	8本	10本		8本	10本	

「現行」は2019年3月改正時点

（参考）横浜羽沢駅発にて新たにご利用が可能となる列車

列車番号	発時刻	行き先（着時刻）	取扱両数 (12フィートコンテナ個数)
3070～3081	1:10	札幌貨物ターミナル駅（23:50）	1両（5個）
1071	4:04	北九州貨物ターミナル駅（21:28）	2両（10個）

（2）コンテナホームの拡張

コンテナホーム拡張により、これまで最大14両対応だった荷役線が、26両までの荷役が可能となり取扱能力が向上します。

（3）輸送障害発生時の対応能力向上

E&S方式導入に伴い、輸送障害時における急送品の迅速な取り卸しが可能となるとともに、列車の発着が可能な線路の増設（現行3線→7線）により、列車運転計画の変更が柔軟になるなど異常時対応能力が向上します。

2. 改良後の構内状況

